

## 東急アパート建替えに関する意見交換会

2014年5月24日(土)に、代官山アドレスコミュニティルームにて、『ラヴェリアおよび東急アパートメント跡地開発』について東急不動産との協議経過報告と意見交換の会を開催しました。40人以上の方のご参加があり、以下のようなご発言(抜粋)をいただきました。



●最高でも8階建てくらいまでの高さまでしか建てて欲しくない。立体駐車場の出入りが、狭い道路から1つになっていて危険で、アドレス側の騒音も心配。代官山の駐車場は余っているようなのに、こんなに必要なのか疑問をもつ。●高層の建物が建ってしまうと圧迫感があってすごく怖い。●強い風が吹いたり地震も心配なので、2棟や3棟の分棟にすることはできないのか。その方が、街を歩く時に快適だと思う。●道ぎりぎりドーンと大きいものが建つというのは、代官山の雰囲気とそぐわない。●代官山の魅力というのは、あまり高層のものがなく空が広くゆとりのある商業施設があるという点で、街のブランドができています。●ベッドタウン化すると、つまらない代官山になってしまう。●商業施設があって住宅施設が揃っているのが今の代官山のいい所。その辺りの折衷案を考えて欲しい。●六本木のミッドタウンに楽しみに行くけれど、ミッドタウンの様なスーパーや飲食店が入った総合的な建物はできないのか? ●どうせ作るなら、商店があったりスーパーがあったりする明るい感じにして欲しい。●東急関係のスーパーができれば、我々高齢者にとっても最高だと思う。●ゴチャゴチャ感というのが代官山のいい所だと思っていて、街を歩いても八幡通りの所も緑が豊かで相当綺麗になっている。個人的には、緑なんかなくても、ゴチャゴチャ店が並んでいる方が、代官山らしい。敷地が囲われて居住者以外には中に入れない状態になるのは避けて欲しい。八幡通りの1、2階に、お店が入っていないのは違和感を感じる。●今、駅からの通りが一本しかないので、駅から近道して八幡通りに抜けられるようにはならないのか? ●この規模のマンションにしては珍しく、セットバックしたり公園ができたり等、全くそういった地域の人が利用できる公共スペースがない。地域の人たちと上手に対話して本当にいいものを作っていただきたい。●開放感ある広場や、人の動線も考えた建物にして開発して貰いたい。駅からすぐに建物がドーンと建っていること自体が、代官山の価値を落としてしまうと思う。●東急さんには新しいマンション像を提案して欲しい。そして、それは夢でもいい。代官山の持つ地域の良さを失って欲しくない。是非、デザインコンペを企画してほしい。●分譲なので、東急は現実的に土地を手放すことになる。五島さんの名に恥をつけるような計画にならないようにして欲しい。●東急さんには代官山が良い地域になることに関して、もう少し協力して下さってもいいのではないかと。●東急さんにもっと代官山を愛して欲しい。●同じテーブルを囲んで東急不動産さんに直接訴えかけたい。●東横線の代官山なので、採算があるかもしれないが、代官山が良い地域になることに関してもう少し協力して欲しい。駅を工事する時、あれだけ協力したので、今度はこちらにも協力して欲しい。●工事が始まるまでの期間あとの状態で放置するのであれば、東急の恥ではないか。

2013年に代スキ会から東急不動産に提出した要望書の内容を再度確認するとともに、9月着工の時期までに「東急さんと同じテーブルで話し合いを」「我々の熱意を伝えるために署名活動を」「デザインコンペの企画を」「ラヴェリアを活かして朝市を」等の具体的な行動を起こそうというたくさんの声が上がりました。今度は、地域主体で、今後の展開にむけた輪を広げていきましょう!

### 代官山哲学カフェ

2014年6月21日(土)に、クラブヒルサイドサロンにて、上智大学文学部哲学科教授 寺田俊郎さんをファシリテーターに迎え『代官山哲学カフェ』が開催されました。

『哲学カフェ』とは、市民のための哲学対話の場で、今回は「景観をめぐるあれこれ」をテーマに、20歳代から70歳代までの幅広い男女18名にご参加いただき、「考えて、聴いて、そして話してみる」ことをお楽しみいただきました。

ご参加いただいた方々からは、「日本の景観はどうか?」「景観の構成要素はどこまでか?」「景観を創造、維持保全するのは誰か?」などの『問い』が提示され、さまざまな『考え』が語られました。

